

かっぱ館と天竜大橋



おもしろかっぱ館には、“かっぱの妙薬”の伝説や幾多のかっぱの絵画や彫刻が見られます。建物はかっぱの顔を基にデザインされており、天竜大橋の東にあります。

天竜大橋は昭和 63 年 8 月建設され長さは約 206m で市街地と中沢・東伊那地区を結びます。橋の欄干には龍の彫刻があり、諏訪湖を源とし総延長 213k m の天竜川の水面に映えます。

橋からは河岸に広がる田園風景や河岸段丘と中央アルプスの山並みを見渡すことができます。

近くに長春寺がありコウヤマキの巨木や役行者(えんのぎょうじゃ)像、井月句碑も見ることができます。
(駐車場 トイレ有り)



かっぱ館の裏(南側)は広場になっており、伝説に沿った彫刻や池があるので公園としてゆっくり利用できます。春には藤が楽しめ、毎年 8 月第 4 土曜日に開催される「天竜かっぱ祭り」では会場にもなります。その日は、午前中から露店が並び、魚のつかみ取りや余興などいろいろ催され、夜は尺玉・2 尺玉を含む沢山の花火が打ち上げられるので一日賑わいます。